

## アゼルバイジャンの教育制度

### 1. 初等・中等教育

- (1) 初等・中等教育は 6 歳から 17 歳までの 11 年間です。学校は同一の学校(一貫校)ですが、中で小学校(1~4 年)、中学校(5~8 年)、高等学校(9~11 年)に分かれています。新学期は 9 月 15 日に始まり翌年 6 月まで続きます。公立校の授業は、アゼルバイジャン語で行うクラス(アゼルバイジャン語セクター)と、ロシア語で行うクラス(ロシア語セクター)があり、今でも半数近くの生徒がロシア語セクターで学んでいるのは、ちょっとした驚きです。公立学校の授業料、教科書代は無償です。
- (2) 現在 4,432 の公立校があり、そこには 160 万人の生徒と 15 万人の教師がいます。一方で、私立校は 31 校で、生徒数は 3,000 人を超えません。アゼルバイジャンが 1991 年に独立して以来、トルコ・リセが最も人気の私立校でしたが、最近では組織上の問題により大幅に減少し又は別の名前で運営されています。私立校では概して先進的な教育メソッドや国際プログラム、外国語教育など水準の高い教育を提供しており、政財界の要人・幹部や経済力のある家庭の子弟が多く通っているようです。

### 2. 高等教育

- (1) 高等教育は大学と大学院、すなわち、学士、修士、博士の 3 レベルで構成されています。現在 51 の大学があり、うち国立大学 40 校、私立大学 11 校となっています。学生数は 212,200 人(2021~22 年度)、大学入学者数は 47,580 人(同年度)でした。国立大学では伝統のあるバクー国立大学、アゼルバイジャン医科大学、アゼルバイジャン国立経済大学、アゼルバイジャン国立石油・産業大学や、比較的新しく国際プログラムの豊富な ADA 大学など、私立大学ではハザール大学、ウェスタン大学などが人気です。
- (2) 留学生について、2022~23 年度に 101 か国から 7,400 人の留学生がアゼルバイジャンの大学で学びました。その主な国籍はトルコ、イラン、ロシア、パキスタン、ジョージア、インド、イラク、シリア、ナイジェリアとなっています。また、同時期に、アゼルバイジャン政府の「海外教育」国家プログラムにより外国(トルコ、ハンガリー、ロシア、中国等)に留学したアゼルバイジャン人の国費留学生の数は 1,004 人でした。日本とアゼルバイジャンの間の留学生交流はまだ少数であり、今後の活性化を目指したいと考えております。

(以上)